

のびっこ2学級担任 齋藤 由美 教諭 の紹介

「好き」を生かす

教育において、子ども一人一人の特性や興味関心に寄り添うことの重要性は言うまでもありません。齋藤由美教諭は、その本質を深く理解し、日々の実践に丁寧に生かしています。

齋藤教諭が大切にしているのは、児童一人一人の「好き」という意識です。生き物、乗り物、触り心地など、一見すると学習とは直接関係のないように思える事柄も、子どもにとっては大きな意味をもちます。その「好き」を教材として取り入れたとき、子どもたちの表情が変わり、学びへの意欲が自然と引き出されていく様子は、教育のもつ可能性の大きさを感じさせます。

特に素晴らしい点は、「好き」を単なる興味にとどめるのではなく、「学びへとつなげる力」を意識的に発揮しているところです。子どもたちは「もっと知りたい」「もっとやってみたい」と主体的に学びへ向かっていきます。その姿は、外から与えられた課題に取り組むのではなく、自ら学びを広げていく理想的な姿そのものです。齋藤教諭は、そのきっかけを巧みに仕掛ける“学びの職人”として、子どもたちの可能性を引き出しています。

また、「好き」と「学び」を結ぶ架け橋となろうとする姿勢にも、深い教育観が表れています。特別支援教育においては、一人一人に応じた関わりが求められますが、その根底にあるのは、「その子らしさ」を尊重する視点です。齋藤教諭はまさにその視点を大切にしながら、子どもたちが安心して学び、成長していける環境を整えています。

齋藤教諭の実践は、「教える」のではなく「共に歩む」という伴走型の教育の在り方を体現しています。子どもたちの「好き」を出発点に、その可能性を無限に広げていこうとする姿勢は、すべての教育に通じる核心につながっていくものと思っています。

